



エアリーフローラ

石川県農業会議だより

第363号 金沢市古府1丁目217番地 (一社)石川県農業会議 令和3年1月
電話 (076) 240-0540 FAX (076) 240-0544

- 農業者年金への加入を推進しよう
- 全国農業新聞・全国農業図書を講読しよう

農業者の皆様をはじめ関係機関・団体の皆様には、日頃から農業会議の事業推進につきまして、格別のご理解とご支援を賜り心からお礼申し上げます。

昨年は、コロナウイルス感染症の対応に追われて経営的にも大変な一年だったのではないかと思つております。本年もまだ先が見通せない状況が続くのではないかと危惧しておりますが、私といたしましても国会等での議論を通じ皆

新春を迎える、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

(一社)石川県農業会議
会長 山田修路



さて、「中間管理事業法」が改正され「人・農地プラン」の実質化への取り組みが農業委員・農地利用最適化推進委員の役割として明確に位置づけられました。

また、国は、昨年3月に新たな「食料・農業・農村基本計画」を策定し、担い手の育成・確保や農地の集積・集約化を進めるとともに、規模の大小や中山間地域といつた条件にかかわらず、農業経営の底上げにつながる対策を講じ、幅広く生産基盤の強化を図ることとしております。

このため、農業委員会組織に対する期待や役割が益々大きくなっています。昨年の農業委員会大会で決議されました「人・農地プランの実質化」等への積極的な取り組みを通じ、扱い手への農地の防

止・解消、新規参入の促進など農地利用の最適化を的確に推進できるよう、関係各位のなお一層のご支援ご指導をお願い申し上げます。

コロナ禍を乗り越え本年が皆様方によりまして、希望に満ちた飛躍の年となりますよう心よりお祈り申し上げまして、年頭のご挨拶といたします。



令和2年 7月以降の主な活動

農業委員会研修会・農地パトロール出発式



農地利用最適化活動の事例発表



パネルディスカッション



農地パトロール出発式のガンバロウ三唱

石川県農業会議は、市町農業委員会の委員で、かつ認定農業者（またはそれに準ずる農業者）で構成された協議会を8月に開催した。今年度はコロナウイルス感染症禍により、6月に予定していた第1回は資料送付による政策提案に関する意見収集となつた。8月の第2回協議会は県内3会場で意見を掘り下げ要望の集約を行つた。

石川県農業会議は、8月6・7日に加賀地区（小松市）及び能登地区（穴水町）で農業委員会研修会を開催した。県内の農業委員・農地利用最適化推進委員ら約500名が2会場に集まり農地利用の最適化並びに「人・農地プランの最適化」に向けた研修を行つた。今回も昨年に引き続き農業委員会の取組事例の報告とパネルディスカッションを

行い、事例報告ではかほく市と穴水町農業委員会が担当し、具体的な活動方法や内容が紹介され、参加した農業委員や農地利用最適化推進委員の知見や活動する上での参考となり、今後の農業委員会活動の横展開につながることを期待している。

事例報告並びにパネルディスカッションのパネラーは次のとおり（敬称略）。

事例報告者

種本 博（かほく市）

宇羅恒一（輪島市）

パネラー
種本 博、大田 昇（かほく市）

水町農業委員会が担当し、参加した農業委員や農地利用最適化推進委員の知見や活動する上での参考となり、今後の農業委員会活動の横展開につながることを期待している。

竹本敏晴、岡元 豊
(能美市)
田上正男、宇羅恒一
(輪島市)
谷口精次、的場清一
(能登町)

また、研修終了後、農地パトロール出発式が開催され、開催地である小松市の和田慎司市長、穴水町の石川宣雄町長から激励の言葉を頂き、農業会議の山田修路会長から代表者へパトロール三点セット（帽子、腕章、マグネット）の授与が行われた。加賀会場では、小松市の川畠眞智子委員、能登地区では穴水町の山岸英晃委員が宣言文の朗読を行つた。最後

に、加賀会場では小松市農業委員会会長の前川幸久氏、能登会場は穴水町農業委員会会长の小西幸藏氏の発声でガンバロウ三唱を行い、今年のパトロールへの意識高揚を図つた。



要望等に関する意見交換

認定農業者等協議会



ブースに置かれたヒマワリの種をみる来場者



基調講演する柴野大造代表取締役

農林漁業まつりへの出展

石川県農業会議は、石川県農業委員会女性協議会と協力し、10月17日（土）・18日（日）に、石川の農林漁業まつりにブースを出展

コロナウイルス感染症禍の影響で約1ヶ月遅れとなつた同会議では、「人・農地プランの実質化」の最終年度ということで各委員会の進捗状況や今後の活動計画などを報告し、その後、現場の問題・課題などを共有するために意見交換を行い、目標達成に向けた意思統一を図った。

石川県農業会議は、市町農業委員会事務局長会議を6月と10月に金沢市で開催した。

市町農業委員会事務局長会議の開催

した。

今年度はコロナウイルス感染症禍で、企画の出展に制限がかかり、毎年好評であつた農産物当てクイズが自粛され、パネル展示とヒマワリの種配布だけとなつた。感染拡大を避けるためやむを得ない状況であつたが、河北潟のひまわり村でとれたヒマワリの種配布は、来場した家族ずれなどが次々と手に取つて持ち帰り好評であつた。

石川県農業委員会大会

石川県農業会議と市町農業委員会が11月20日、白山市鶴来総合文化館クレインで第58回石川県農業委員会大会を開いた。大会には農業委員や農地利用最適化推進委員など400人が参加し、農業政策に関する提案等を決議した。

大会では株式会社マルガードの柴内文雄（白山市）、吉田則明（能美市）、北川康一（野々市）、山本幹夫、橋場英俊（以上、川北町）、得能順市、山崎直樹（以上、津幡町）、米田高志、川辺俊一（以上、内灘町）、村木てる江（志賀町）、西山明夫（宝達志水町）、中田芳夫

【石川県農業会議会長表彰】

種本博（かほく市）、竹山武志（白山市）、徳野三知應（野々市市）、瀧川悟（津幡町）、細谷清（穴水町）

【全国農業会議所会長表彰】

大田昇（かほく市）

【永年勤続農業委員等】

【全国農業会議所会長表彰】

野大造代表取締役が「地域素材を活かしたジエラートで世界を切り拓く」と題して基調講演し、全国農業会議所の柚木茂夫専務理事が農業情勢について報告した。

（穴水町）、道下良一、谷口精次（以上、能登町）

【全国農業会議所会長表彰】

金沢市農業委員会

【出版事業推進優良農業委員会】

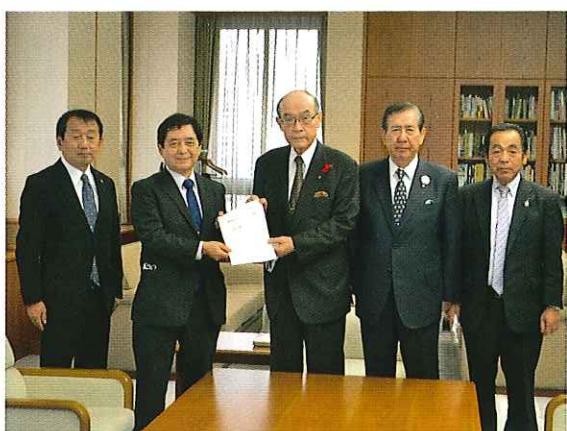
（穴水町）、道下良一、谷口精次（以上、能登町）



情勢報告する柚木専務理事

◆石川県等への要請

石川県農業会議の山田修路会長、矢田富郎副会長、竹山武志副会長、担い手の農業委員を代表して佛田利弘野々市市農業委員会会長が12月18日に県庁を訪れ、谷本正憲県知事と中西吉明・田中新太郎副知事、稻村建男県議会議長、



谷本県知事へ要請



農業委員会並びにプラン担当課を交えた意見交換

なお、今年度2回目となる研修会の開催や、2月の県の農山漁村男女共同参画推進大会、3月の東京都で開催される女性の農業委員会活動推進シンポジウムなどへの参加についても、今後のコロナ禍

の状況下でも、7月30日には、金沢市で農業政策に関する提案の意見交換会を実施するなど、安全に配慮しつつ可能な限り活動を行った。

なれば、今年度2回目となる研修会の開催や、2月の県の農山漁村男女共同参画推進大会、3月の東京都で開催される女性の農業委員会活動推進シンポジウムなどへの

善田善彦県議会副議長、安田秀樹県農林水産部長に「担い手の育成・確保」や「農業振興対策」、「地域対策」など県農業委員会大会で決議した項目について要請した。

また、14日に北陸農政局を訪れ、岩濱洋海局長、小林勝利・内畠聖寿次長へ決議事項を要請し、意見交換した。

なお、要請した政策提案は、昨年6月から市町農業委員会、認定農業者等農業委員・推進委員協議会、石川県農業委員会女性協議会から幅広く意見を積み上げ、常設審議委員会において審議し、県大会で決議したものである。

また、14日に北陸農政局を訪れ、岩濱洋海局長、小林勝利・内畠聖寿次長へ決議事項を要請し、意見交換した。

なお、要請した政策提案は、昨年6月から市町農業委員会、認定農業者等農業委員・推進委員協議会、石川県農業委員会女性協議会から幅広く意見を積み上げ、常設審議委員会において審議し、県大会で決議したものである。

人・農地プランの 実質化に向けて市町巡回

石川県農業委員会 女性協議会の活動について

等の情勢を見極めながら活動していく予定である。

経営能力向上研修会



税務研修会

県内の女性の農業委員・農地利用最適化推進委員で組織される石川県農業委員会女性協議会（藤田礼子会長）は、コロナ禍で活動が制限される中、可能な限り活動している。

毎年開催している北信越ブロックの女性農業委員会研修会が、中止となつた。また、県産業展示館（金沢市）で開かれた石川の農林漁業まつりへの参加についても、今年度は活動紹介のパネル展示と津幡町の協力で準備したひまわりの種の配付のみで行われた。

そのような状況下でも、7月30日には、金沢市で農業政策に関する提案の意見交換会を実施するなど、安全に配慮しつつ可能な限り活動を行った。

なれば、今年度2回目となる研修会の開催や、2月の県の農山漁村男女共同参画推進大会、3月の東京都で開催される女性の農業委員会活動推進シンポジウムなどへの

石川県農業会議は、（公財）いしかわ農業総合支援機構、農林総合事務所と連携し、令和2年12月から令和3年2月まで経営管理能力向上研修会を開催している。前期研修（複式簿記の基礎、パソコン農業簿記導入操作、税務）は12月で終了しており、後期研修（パソコン農業簿記決算）は2月に農林総合事務所または農林事務所で開催を予定している。

市町農業委員会の活動紹介

12月15日には18回目となる農業体験事業絵画展表彰式が行われた。

この事業はJAと協力し、小学校・義務教育学校の児童を対象に3割の6名が新任となつた。各委員にはそれぞれ担当区域を割り当てて、農地売買・農地転用等の現地調査を実施することとしている。

今後は、現在も実質化に向けて取り組む地区において、中山間事業の対象地区や圃場整備予定地区から実質化に向けて順次話し合つていただきたいと考えている。

その他、当委員会では、女性委員を中心とした委員活動として、

珠洲市農業委員会

珠洲市農業委員会は、令和2年8月4日に2回目となる新体制に移行した。

委員数は農業委員9名、農地利用最適化推進委員12名の計21名の体制を継続した。今回の改選で約3割の6名が新任となつた。各委員にはそれぞれ担当区域を割り当てて、農地売買・農地転用等の現地調査を実施することとしている。

・10月19日には、石川県農業会議

から講師を招聘し、農地制度、農地パトロール、「人・農地プランの実質化」について研修会を実施した。

・11月中旬には農地パトロール・利用状況調査が終了した。

・「人・農地プランの実質化」の進捗状況としては2月にアンケート調査を実施し回収、12月上旬には集計を終えており、今後は各委員が担当区域において集落での話し合い・意見の取りまとめなどに活動しプラン決定へ向けて取り組んでいく。

津幡町農業委員会

津幡町農業委員会は、令和2年7月に改選し、新体制に移行して2期目を迎える、農業委員11名、農地利用最適化推進委員15名の計26名で活動を行つてている。

人・農地プランの実質化に向けた取り組みとして、令和元年度から町農政部局と農業委員会の地区担当委員及び事務局が、地区別に農業者や代表者と面談を実施し、

地区の実情を聞き取り、プランの実質化の有無を判断し、今後の耕作について話し合つてきた。

実質化に向けて取り組む地区での話し合いも複数回に渡り実施しており、地図や耕作地の情報などをもとに実質化に向けて議論を重ねた。

委員は、話し合いや面談に積極的に参加することで、担当地区の実情を把握し、遊休農地の解消や農地利用の集積・集約の活動に役立てている。

今後は、現在も実質化に向けて取り組む地区において、中山間事業の対象地区や圃場整備予定地区



農業委員会会長表彰を授与する長谷会長



から実質化に向けて順次話し合つていただきたいと考えている。その他、当委員会では、女性委員を中心とした委員活動として、農業者向けの講座や料理教室等のイベントを開催している。イベントを通じて農業委員会の見える化や農業者同士の交流を図る場の提供、地元農産物の消費拡大を図っている。新型コロナウイルス感染症拡大防止のためイベントは現在自粛しているが、今後も感染防止対策を取りながらイベントの充実化や、町の女性団体や女性農業者との交流も計画していきたいと考えている。

農地利用最適化と人・農地 プランの実質化に向けて

「人・農地プランの実質化」に向けて令和元年9月末に一部市町を除きプラン見直しに向けた工程表が作成され、その取りまとめ期限（3月）が迫っています。実質化の条件となる扱い手や農地所有者のアンケート調査や地図の作成、話し合いを進める中で、昨年のコロナウイルス感染症の大などにより、話し合いの開催が遅れているところもあるようです。農業委員会は、中間管理事業法の見直しに伴い、「人・農地プランの実質化」に向けた農家の意向把握や話し合いへの参加など、その役割が明記され、これまで以上に積極的な活動を求められることとなります。

そもそも農業委員会は、農業委員会法第6条第2項により農地利用の最適化（扱い手への農地集積、遊休農地の発生防止、新規就農促進）を行わなければならぬことなつており、「人・農地プランの実質化」の有無にかかわらず、法令に基づく必須業務であることを各委員が自覚し積極的に活動することが求められています。

令和2年常設審議委員会の審議状況

月別件数

| 開催日 | 意見聴取委員会数 | 意見聴取事案件数 | | 農地区分 | | | | | |
|-----------|----------|----------|----------------|-------|----|-----|-----|-----|-------|
| | | 第4条件 | 第5条件 うち一時転用 | 農振農用地 | 甲種 | 第1種 | 第2種 | 第3種 | 市街化区域 |
| 1月10日(金) | 5 | 10 | (2) | 3 | | 6 | 1 | | |
| 2月10日(月) | 4 | 6 | (0) | | | 6 | | | |
| 3月16日(月) | 6 | 3 | (2) | 3 | | 6 | 1 | 1 | |
| 4月13日(月) | 7 | 1 | (5) | 5 | | 1 | 2 | | |
| 5月8日(金) | 3 | 3 | (1) | 1 | | 2 | | | |
| 6月15日(月) | 4 | 4 | (2) | 2 | | 2 | | | |
| 7月13日(月) | 4 | 1 | (1) | 1 | | 3 | | | |
| 8月11日(火) | 6 | 1 | (1) | | | 8 | | | |
| 9月11日(金) | 5 | 6 | (1) | 1 | | 3 | | | |
| 10月12日(月) | 8 | 11 | (2) | 2 | | 9 | | 1 | |
| 11月9日(月) | 1 | 1 | (1) | | | 1 | | | |
| 12月14日(月) | 5 | 7 | (2) | 4 | | 3 | | | |
| 計 | | 7 | 73 (20) | 22 | | 50 | 6 | 2 | |

注1) 1事案の農地区分が分散している場合、優良性の高い農地区分に含めた。

2021年1月～8月までの主な行事

| 開催日 | | 会議・行事名 | 開催場所 |
|-----|--------|------------------------|-----------|
| 1月 | 15日(金) | 第58回常設審議委員会 | 県地場産業センター |
| 2月 | 8日(月) | 市町農業委員会会长・事務局長会議 | 農業会館 |
| | 15日(月) | 第59回常設審議委員会、理事会 | 県地場産業センター |
| | 16日(火) | 都道府県農業会議会長会議 | 東京都 |
| 3月 | 8日(月) | 全国農業会議所臨時総会 | 東京都 |
| | 11日(木) | 第16回女性の農業委員会活動推進シンポジウム | 東京都 |
| | 15日(月) | 石川県農業会議臨時総会 | 県地場産業センター |
| | | 第60回常設審議委員会 | |
| 4月 | 12日(月) | 第61回常設審議委員会 | 県地場産業センター |
| 5月 | 14日(金) | 第62回常設審議委員会 | 県地場産業センター |
| | | 石川県農業会議理事会 | |
| | 25日(火) | 令和3年度全国農業委員会会長大会 | 東京都 |
| 6月 | 14日(月) | 第66回 農業会議通常総会 | 県地場産業センター |
| | | 第63回常設審議委員会 | |
| 7月 | 12日(月) | 第64回常設審議委員会 | 県地場産業センター |
| 8月 | 4日(水) | 加賀地区農業委員会研修会 | 能美市 |
| | 5日(木) | 能登地区農業委員会研修会 | 中能登町 |
| | 10日(火) | 第65回常設審議委員会 | 県地場産業センター |
| 11月 | 19日(金) | 石川県農業委員会大会 | 羽咋市 |

本県では、担い手への農地集積を進めるため、行政や農業団体など関係機関組織が一体となり、県と支援チームを設置して活動を行っています。JA、土地改良など関係機関・団体で構成され、それぞれが役割分担をして農地集積に取り組むこととなっています。

既にプランが実質化済みという市町もありますが、農業委員、農地利用最適化推進委員の皆様には日常活動を通じて農地利用の最適化の推進に取り組んでいただきますようお願いいたします。日常生活におけるちょっととした活動を積み重ねることで、農業者との体で構成され、それぞれが役割分担をして農地集積に取り組むこととなっています。

最後に、コロナウイルス感染症禍という厳しい状況であります。が、日々活動いただいている農業委員並びに農地利用最適化推進委員の皆様に感謝申し上げ、目に見える活動が実践されることを重ねてお願いします。

信頼関係が構築され農業委員会の存在意義が高まることを強く期待するものであります。

石川県農業会議